

9月18日(金曜日)「ちりー梁」機制

【新改訳 2017】

ルカ 6.41、42

「あなたは、兄弟の目にあるちりが見えながら、どうして自分の目にある梁には気がつかないのですか。……偽善者たち。まず自分の目から梁を取りのけなさい。……」

わかりやすく言えば、他人の小さな失敗や罪を厳しく指摘しながら、自分の大きな失敗や罪には気づかないでいることでしょう。自分のことは棚に上げて他人のことはかりとやかく言うたぐいの意味です。よくあることです。人間関係を壊してしまう心の動きです。

見出しの「機制」はメカニズムのことで、仕組み、内容によっては「からくり」を意味します。「ちりー梁」メカニズムは、罪の真理の古典的なものの1つです。主イエスは、まずは自分の罪に目を向け、取り除きなさいと言われます。そうしてこそ、初めて他人を正しく見、理解することもできるというのです。どうしたらできるのでしょうか。日々主イエスの十字架のもとで祈り、ゆるしていただき、

きよめていただいで初めてできることです。

～祈り～

主よ。自分のことは棚に上げて、人のことばかり責めやすい者です。おゆるしてください。まず、自分のことを省みることができるようになってください。

### 【学びのために】

「ちりー梁」メカニズムは、イツヒハイザー理論としても知られていますが、聖書のこの箇所から説かれたものです。(イツヒハイザーは心理学者の名前。)